

2026年

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

本町では、引き続き『子育てファーストタウン』を旗印に、子育て世代が安心して子育てでき、健康に暮らせる環境を整備するため、子育て支援施策の充実に全力で取り組んでまいります。

また、若い世代の定住を促進し、次代につながる持続可能な地域社会を構築するため、豊かな自然環境、歴史的文化遺産、地域産業などの既存資源と新たな資源を組み合わせる「新結合」により、魅力あるまちづくりを推進し、職員一丸となって町政運営に取り組んで参ります。

みなさまのご協力をお願い申し上げます。

垂井町長 早野博文



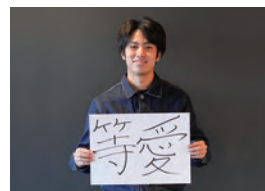
たるい未来トーク 垂井町長 × 二十歳を迎えた若者たち

今年、年度二十歳となり、垂井町と早野町長が今の垂井町やこれからの垂井町について語り合う「たるい未来トーク」を今年も実施しました。若者の視点から、生まれ育った垂井町について感じることや、人口減少など社会を取り巻く問題について自身の考えを早野町長へ述べていただきました。

参加いただいたみなさんを紹介しします（二十歳を祝う会実行委員より）



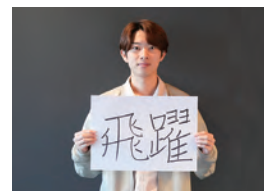
水野晃架さん



西川剣翔さん



児玉智哉さん



太田晶瑛さん



杉山太一さん



井上權杜さん



赤瀬川恵奏さん



山地陽奈多さん



清水奏向さん

町長…みなさんあけましておめでとうございます。令和4年度から毎年二十歳を祝う会の実行委員のみなさんと垂井町について意見交換を行っています。若い方とお話できる機会は少ないので、今日はみなさんの考えを気楽に話してください。

赤瀬川…垂井町にはたくさん思い出があります。住みやすいし、名古屋だけでなく、大阪へのアクセスも良いと感じています。将来遠方で働くことになっても、帰省しやすく、家族や友人ともつながっていただけると思います。

町長…毎年、民間会社が発表している「まちの住みここちランキング」で、垂井町は岐阜県内で2年連続3位。「住み続けたいまちランキング」でも昨年は2位に順位を上げました。垂井町は非常に住みやすいまちであると実感しています。

太田…二十歳になって、垂井町で過ごした日々が今の自分の土台になっていると感じています。垂井町ならではの風景や人とのつながり、あたたかさなどが、都会に出た自分の支えになっています。垂井町で生まれ育ったことを誇りに思いながら、将来はなんらかのかたちで垂井町に還元したいです。

町長…私も時々上京することがありますが、長く滞在したい、住んでみたいとは思いません。都会に遊びに行くのは良いかもしれませんが、住むとなるとなんだか殺伐としていて、落ち込んだときに心のよりどころがないように感じます。垂井町で生まれ育った人たちには、慣れ親しんだ風景を忘れてほしくないですね。



早野町長と令和7年度新規採用職員

井上…私は、現在名古屋の大学に通っています。垂井町は、地域の子供たちが大人と一緒に登校し、帰ってきたときも「おかえり」と地域の人たちが迎えてくれます。名古屋では小学生が一人で電車通学している様子を見かけるので、垂井町は地域ぐるみで子供たちを見守り、本当にあったかいなと思います。

町長…小学校や中学校を統廃合している自治体も多くあります。垂井町も検討をしています。が、「少人数の学級が良い」「大人数の学級で学習させたい」など意見はさまざまなので慎重に検討する必要があります。

現在、私たち行政は、人口減少をいかに食い止めるか頭を悩ませています。

垂井町の昨年の出生数は116人、みなさんが生まれた平成17年は264人で、大きく減少しています。岐阜県の調査によると10代・30代の女性は「将来子どもを2人か3人ほしい」という結果が出ています。

このように、若い世代の多くは複数の子どもを望んでいます。が、都市部へ流出した結果、家賃などが高いことから、子どもを伸び伸びと育てられる環境が得られず、少子化が進みます。

垂井町の良さ・悪さ

西川…良いところは、南宮大社があることや、緑が多いところ、人があたたかいところだと思っています。悪いところは、娯楽施設などが少なく、遊びに行くときは大垣や名古屋まで出かける必要があるところです。

清水…私も同じで、良いところは自然が豊かで、人もあたたかく、住みやすいところです。地元のお祭りが古くから続いていて誇りに思います。

悪いところは、若い人が楽しめる施設が少ないことです。

水野…良いところは、薬局や総合病院などがある。医療環境が整っているところだと思います。

悪いところは、名古屋や大阪には行きやすいですが、岐阜市や大垣市など近隣には車で行けないのが不便です。

杉山…良いところは、春の風物詩、相川沿いの桜と鯉のぼりがあるところです。悪いところは、まちの中心部から離れた地域では、車が必須であるところです。バスもあまり通っていないため、移動に車が欠かせません。住民が安心して移動できるように、バスなどの公共交通機関の増強をお願いします。

町長…みなさんが娯楽施設のオーナーならどこに建てますか？どれだけ集客でき、利益を出せるか考えて建設しなければなりません。これが経営者の視点です。みなさんもそのような視点を持ってください。



進む人口減少に対して考えること

児玉…私は、保育施設でミュージカルをやっていますが、子どもの数と先生の数が釣り合っていないのが現状です。他の市町からも、子どもを集めるためにバスを通していると聞き、非常に経営が大変だと思いました。

山地…私は、いまの世の中は子供を産みにくい、育てにくいと思うので、子供を育てやすい政策が必要だと思います。どこかの自治体では、町営の住宅の家賃の割引制度や子育てをする家庭に給付をするなどして、数年で人口が大きく増えたところがあると聞いたことがあります。ほかに、工場誘致で財政が潤った村もあると聞いたことがあるので、ほかの成功した自治体の政策を参考にしたいです。

町長…非常に厳しいご意見です。

自治体の財政事情はそれぞれ違いますが、私は町長に就任してから公約である小中学校の給食費の無償化を実施しています。毎年1億円ほどの財源が必要です。1億円というのは大きな額ですので、企業誘致や創業支援を行うなどして、税収増とともに地域活性化を図っています。

清水…人口が減り、店舗や学校がなくなったらとても悲しいです。子どもがいなくなると地域に活気がなくなりますし、地域との関わりがなくなるので非常に寂しいです。

若者同士や地域とのつながりを強化するために何ができる？

太田…私は、南宮大社の例大祭に小さいころから関わっています。参加するほとんどの年齢の方なので、お祭りやイベントに若い人が関わりやすい環境づくりが必要だ

町長…とても大切なことですね。人が集まってくる企画をしないといけませんね。先日、新たに起業された人たちの発表を聞く機会がありました。最近に移住してきた人たちが、まちの課題や魅力を見つけてチャレンジする傾向が見受けられます。そういった人たちを今後も応援していきたいです。

垂井町がどんなまちなら住み続けたい？必要な施策は？

西川…人とのつながりがもっと深くなると、住み続けたいと思うのではないのでしょうか。つながりがなくなると、愛着もなくなり、出ていく人が増えると思います。例えば、お祭りの神輿を担ぐ人が少ないという問題がありますが、若い人たちがもっとやりたいと思うような要素を取り入れると、若い参加者も増え、そこからつながりが生まれると思います。

町長…町外からも参加を歓迎していると聞きますので、みなさんも友人を誘うなどしてぜひ参加してほしいです。

山地…町の財政が安定していることが、住み続けるためには重要だと思います。

具体的にどんな施策が必要かわかりませんが、垂井町の良い点の一つは飲食店が多いところだと思うので、継続してほしいです。

町長…私も飲食店が増えると嬉しく思います。ほかの西濃地域のまちない店舗が垂井町にはあります。周辺のまちの人からも垂井町には飲食店の種類が豊富でうらやましがられます。

水野…暮らしに必要なものが増え、仕事と暮らしの両立ができるまちであると住み続けたいと思えるのではないのでしょうか。私は現在岐阜市に通学していますが、中心部

と思います。若者同士交流ができる機会を増やすことで、垂井への愛着を再確認できると思います。若者にはSNSを活用して、発信するのが効果的だと思います。

赤瀬川…垂井町にプロバスケットボールチームができたので、その流れに乗ってスポーツのイベントを開催してほしいです。また、最近はeスポーツが流行っている、SNSを通じて配信すれば、垂井町の認知度が広がると思います。

児玉…私は昨年アメリカに留学しました。近くにキリスト教の教会があって、毎週月曜日は若者が集まって交流する日や、毎週日曜日は世代問わず集まって交流する日などがありました。私も参加し、そこで人とのつながりやあたたかさを感じました。垂井町でも、コネクトベース垂井やワイワイプラザ垂井を活用して、例えば若者や年配の人が集まり、コーヒーを飲みながら交流ができる機会があれば人とのつながりが持てると思います。



から離れていて通学に時間がかかり、不便を感じます。「この街に住みたいか？」と聞かれたら住みたくなないと答えると思います。

垂井町はさまざまなお店がそろっていて便利なので、今後も継続してほしいです。

町長…ご意見ありがとうございます。いただいた意見をひとつでも実現できるように努力していきます。

地域を活性化させるには、人口減少や少子高齢化だけでなく、古くなった施設や道路の点検など、課題が山積しています。みなさんには学ぶことを怠らず、多くの経験を積んで、これからも垂井町を応援してください。最後に、二十歳になったみなさんに今年の抱負を書いていただきました。達成できるように一緒に頑張っていきたいと思います。本日はありがとうございました。

